

# 令和5年度事業報告

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

令和5年度は新型コロナウイルスが5類に移行し、私たちの暮らしも落ち着きを取り戻しました。一方では物価の高騰や最低賃金の大幅な引き上げなど生活や経済活動に関する変化も感じられました。

このような状況の中で、当シルバー人材センターは、令和5年度事業計画、第一次中・長期計画（後期）に基づき、高齢者が地域の担い手として、健康で生きがいをもって生活し、活力ある地域社会を構築できるよう高齢者に活躍の場を提供し、各種事業に取り組んでまいりました。

事業実績としては、請負による契約金額が、143,869,617円（前年比105.8%）、シルバー派遣事業での契約金額は、15,274,540円（前年比95.7%）という結果になりました。

実施した事業においては、会員の増強、就業機会の拡大、安全・適正就業の推進、中長期計画に代わる事業推進計画の策定など、会員、役職員が力を合わせ、各事業の推進に全力で取り組みました。

結びに市、県をはじめ、多くの関係者、センターをご利用いただいたお客様のご支援、ご協力に感謝申し上げます、令和5年度の事業報告とさせていただきます。

## 1 会員の増強

さまざまな受注に対応し、センター事業を維持、発展させるため、会員増強を目的に各種普及啓発活動を実施しました。

### （1）普及啓発

10月は普及啓発促進月間としてあいあいまつりへの参加、11月には日高市民まつりに参加し、センターPR活動、チラシ配布を行いました。ボランティア活動を5月と10月に開催し、延べ123名の会員が参加し市内の美化活動を通してセンターのPRを行うとともに会員の入会促進等につながるポイントカード制度の定着促進に努めました。

また、市広報紙「広報ひだか」への記事の掲載、ホームページ等を活用した広報活動を実施しました。

## (2) 入会相談

働く意欲のある高齢者を対象にして、毎月第3木曜日を基本に入会説明会を開催しました。入会登録に関しては、役員が入会希望者の個別面談を行い、希望職種、健康状態等を確認し、センターの趣旨に賛同いただいた63名の方が新たに入会となりました。

また、個別就業相談を行い、センターの会員として早期に就業が開始できるよう相談、支援を行いました。

## 2 就業機会の拡大

定年延長化が社会に定着し、登録会員の高齢化が進み、令和5年度末の会員平均年齢は75.3歳となりました。会員の就業ニーズの把握に努め、無理なく持続的に就業できる短時間就業や小口就業の定着促進に努めました。

一つの仕事で多くの会員を必要とする場面では、SMS（ショートメッセージサービス）を活用し、多くの会員へ効率的に就業機会が提供できるように努めました。

さらに従来から行っている請負就業と派遣就業を適切に組み合わせることで就業機会の拡大に努めました。

### (1) 研修講習事業

研修講習事業としては、今後のデジタル化への移行を踏まえ、会員向けのスマートフォン教室を2回開催し、延べ14名が受講しました。また、就業に関してお客様の要望や依頼に対応できるよう正副班長を中心に就業に関する情報提供等を行いました。

### (2) 未就業会員対策

未就業会員対策として、毎月2回未就業相談の場を設け、早期に就業が開始できるよう努めるとともにSMS（ショートメッセージサービス）により幅広く未就業会員への呼びかけを行いました。

### (3) シルバー派遣事業

シルバー派遣事業は、「高齢者活用・現役世代サポート事業」として公益財団法人いきいき埼玉と連携し、その取り組みを強化しました。

## 3 安全・適正就業の推進

安全・適正就業は、事故やクレームの内容を分析し、各班との連携を図り、

次のとおり取り組みを実施しました。

#### (1) 安全就業の推進

安全就業は、安全・適正就業委員会が中心になって委員会の開催、安全巡回パトロールを5回実施し、計24か所を巡回しました。

高所作業における転落事故防止対策、刈払による飛散事故防止対策、交通事故防止対策、夏場の屋外就業対策といった重点項目とタイヤ止めの励行などの基本事項に加え伐採作業に関する安全管理など安全就業の徹底を図りました。

#### (2) 適正就業の推進

適正就業に関しては、センター就業の実態調査を行い、就業形態の確認とコンプライアンス（法令遵守）について検討し、適正就業ガイドラインに沿った運営に努めました。

#### (3) 健康推進対策

健康で元気にいつまでも働けることを目的に会員の健康作りを推進し、健康に関する情報提供を行いました。また、今後のフレイル予防事業への取り組みに向け準備を行いました。

### 4 地域福祉ネットワークの連携強化について

行政機関や地域の団体と打ち合わせ等を行い、シルバー人材センターの状況を説明するなど情報交換を行うとともに地域でのニーズ等の把握に努めました。

### 5 組織・運営体制の整備

理事会、三役会を中心に各部会（広報・事業部会、総務・財政部会）と各委員会（安全・適正就業委員会、広報編集委員会、事業推進計画策定委員会）を適宜開催しました。公益社団法人として、必要な組織・運営体制について検討、整備を実施しました。

### 6 財政基盤の強化

収支相償を遵守しつつ経費節減に努めるとともに今後の事業運営に向けて、近隣シルバー人材センターの情報収集を行うなど財政健全化に向けた検討を実施しました。

## 7 事務局体制の効率化と充実

事務局職員の資質向上のためオンライン研修会への参加や定期的なミーティングを行い、情報の共有化を進め、多様化する事務に対し、効率的な事務処理に努めました。事務局内の役割分担の見直しや新たな事務の進め方を検討するなど事務局体制の強化と充実に努めました。